

凸版印刷、「さいたま国際芸術祭 2020」に協賛

2020年3月14日から開催される「さいたま国際芸術祭 2020-Art Sightama-」に
プラチナ・パートナーとして協賛
さいたま市の目指す「生き生きと心豊かに暮らせる文化芸術都市」創造を支援

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:磨 秀晴、以下 凸版印刷)は、2020年3月14日(土)~5月17日(日)に埼玉県さいたま市で開催される「さいたま国際芸術祭 2020-Art Sightama-」のプラチナ・パートナーとして協賛しました。

「さいたま国際芸術祭 2020」は、さいたま市が主催する芸術の祭典です。さいたま市におけるアートイベントとしては「さいたまトリエンナーレ 2016」から2回目となる「さいたま国際芸術祭 2020」では、既存のジャンルに捉われない領域横断的な作品を国内外のアーティストと共に展開予定です。

Art Sightama

さいたま国際芸術祭 2020

■ 開催趣旨と協賛の背景

「さいたま国際芸術祭 2020」は、さいたま市が定めた将来像である「市民等が生き生きと心豊かに暮らせる文化芸術都市さいたま市」の創造に向けた重点プログラムです。また、この「さいたま国際芸術祭 2020」は、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が定める「東京 2020 参画プログラム(カルチュラル・オリンピアド)」(※1)にも認定。130万人が暮らす生活都市における芸術祭として「共につくる、参加する」をコンセプトに、市民の皆様と一緒に盛り上げていく芸術祭です。

凸版印刷は創業以来、「情報・文化の担い手としてふれあい豊かなくらしに貢献」する企業理念のもと、119年にわたり培ってきた「印刷テクノロジー」をベースに、様々な事業展開を図ってきました。今回、凸版印刷は「さいたま国際芸術祭 2020」開催の趣旨に賛同し「さいたま国際芸術祭 2020」に協賛。これを通じて芸術文化のさらなる発展と、文化振興による社会貢献を目指します。

■ 「さいたま国際芸術祭 2020」概要

開催期間	2020年3月14日(土)~5月17日(日) [65日間]
テーマ	花 / flower
会場・メインエリア	(大宮エリア) 旧大宮区役所、旧大宮図書館、大宮盆栽美術館、鉄道博物館 (その他) 彩の国さいたま芸術劇場、埼玉県立近代美術館、うらわ美術館、さいたま市文化センター、岩槻人形博物館(開館予定)、その他市内各所
公式サイト	https://art-sightama.jp/

※1 東京 2020 参画プログラム(カルチュラル・オリンピアド)

スポーツだけでなく、文化芸術や地域での世代を越えた活動など、参加者自らが体験・行動し、未来につなぐプログラム

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上